

Advanced南薩

平成27年12月発行

2学期には、8校の計画訪問が計画され、全て計画どおりに訪問させていただきました。予定していたことが予定どおり行えたことに感謝したいと思います。

運動会・体育大会、学習発表会・文化祭など大きな行事の多い中、各学校の教育活動の進捗状況をまとめた説明資料や授業参観のための略案の作成等の準備もしていただき、おかげさまで「学校経営及び教育活動実施上の課題についての共同研究や指導、事務指導等を行い、学校教育の改善・充実に資する」という計画訪問の所期の目的を達成し、終了することができました。

お礼の意味を込めてここに、訪問させていただいた各学校の特色ある取組を紹介し、参考にさせていただき、それぞれの学校の教育活動の充実に役立てていただければ幸いです。

指宿市立池田小学校【9月7日（月）】

校訓：やさしく かしく たくましく
教育目標：花と緑と笑顔あふれる池田小



玄関には、各家庭の「一家庭一家訓」が額入りで掲示されていました。学校が核となり、家庭教育の充実を図っています。

早く課題が済んだ子が近くの友達の手伝いをしています。やがて学年が上がるにつれ、学び合いへと発展していくことでしょう。



「応援しがいのある学校」を目指して、音読暗唱集「イッシー」の活用や、一事徹底事項「ちくちく言葉を減らし、ふわふわ言葉を増やそう」の設定など、課題解決的に取り組まれています。

指宿市立山川中学校【9月16日（水）】

校訓：好学・友情・実践
教育目標：心身ともに健康でたくましく、自ら学ぶ意欲を持ち、郷土を愛する人間性・社会性豊かな生徒を育成する。

授業前の黙想。授業に対する構えをつくります。学校全体で実践していることで、より一層効果が上がります。



グループ学習を積極的に取り入れることで、グループ内での会話が増え、説明する力も鍛えられます。



生徒主体の授業づくりが図られています。生徒指導においても、教師の指示を減らし、生徒に主体的な判断を促す取組が進められています。

南さつま市立加世田中学校【9月28日（月）】

校訓：創・健・心
教育目標：未来を創造する心豊かでたくましく生き抜く生徒の育成



グループ活動を積極的に取り入れ、生徒の対話活動を大切に授業が展開されています。

英語のペアワークの様子。コミュニケーション能力の基礎を養う教材として大変重要な活動です。



不登校の未然防止・状況改善に向け、適応指導教室やSC、SSWとの連携、支援チームによる対応など、組織的に取り組まれています。

※H27～H28 魅力ある学校づくり県指定校

南九州市立神殿小学校【10月6日（火）】

校訓：心豊かにたくましく
教育目標：心豊かで、確かな学力を身に付け、心身ともに健やかな「神殿っ子」を育てる。

ICT機器を使い、お天気お姉さんのように天気図を示しながら説明しています。このときは、教師も聞き役に徹します。



全校児童5人の小規模校という特色を生かし、給食はみんないっしょにとります。



「ホテルのタペコンサート」など、地域と一体となった特色ある教育活動が充実しています。また、「学校楽しいーと」等を積極的に活用し、児童一人一人の実態をきめ細かに捉え、指導に生かしています。

南九州市立浮辺小学校【10月13日(火)】

校訓：かしこく ただしく たくましく
 教育目標：自ら学び、心豊かでたくましい、主体的に
 生き抜く子どもの育成



3年生から複式学級になります。それに向け、低学年のうちから自分たちで授業を進められるようにしていきます。

パソコンを使った学習の場面。パソコンが大きいので、他の子の思考を妨げることもなく使えます。ヒントコーナーとして活用できそうです。



「語先後礼」、「名前を呼んでのあいさつ」など、レベル1からレベル4までのあいさつに関する具体的な指導がなされています。また、「浮辺三家訓+1」（+1は各家庭で決める）も特色ある取組です。

南さつま市立益山小学校【10月19日(月)】

校訓：やさしく かしこく たくましく
 教育目標：自ら考え、進んで行動できる 心豊かで
 たくましい 益山の子ども

きちんとめあてが板書されています。そのことで、見通しをもった学習につながります。



子どもたちの机上には、国語辞典が準備されています。ことばを理解し、語彙を広げるのに役立ちます。



イングリッシュウィーク・イングリッシュデーなどの英語に親しむ活動が充実しています。
 ※H24～H25 外国語活動研究指定校

南さつま市立笠沙小学校【10月26日(月)】

校訓：やさしく たくましく かしこく
 教育目標：豊かな心、元気な体、確かな学力を身につけた、ひとみ輝くたくましい子どもを育てる。



定着を図る場面での机間指導の様子。個別学習の時間を設定することで、個に応じた指導が可能になります。

友達と見せ合い、交流・評価し合っています。交流の前にきちんと一人一人の活動が保障されているので、交流も充実します。



平成26年に旧笠沙小・玉林小・赤生木小の3校が再編された2年目の学校です。「笑顔で、声だせ・汗だせ・知恵だせ 笠沙っ子」の合言葉のもと、旧学校のよさを発展させる教育活動が展開されています。

南九州市立穎娃中学校【11月9日(月)】

校訓：自主自立 立志向学
 教育目標：自他ともに尊重し、心身が健康で豊かな心を持ち、自ら学び、自ら考えて主体的に行動し、社会の変化に対応できる生徒を育成する。

南日本新聞「若い目」への投稿を積極的に進めています。積極的な投稿により7月には「若い目賞」も受賞しました。



「目的意識をもって観察、実験を行い、科学的な見方や考え方を養う」という理科授業が実践されていました。

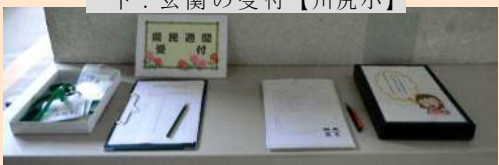
スタンプラリー、ポイントカード、読書通帳による感動の貯蓄など特色ある読書指導がなされています。修学旅行先(福岡市)でのふるさとPRなど、キャリア教育の視点に立った教育活動も充実しています。

地域が育む「かごしまの教育」県民週間学校訪問

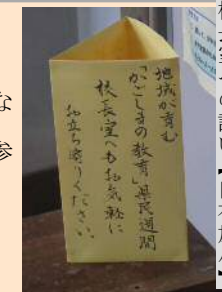
今年も、11月1日～7日を中心とした期間にそれぞれの学校で多彩な催し物が企画・実施されていました。期間中、地区内の小学校に18,282人、中学校に5,189人の参加者がありました。



上：校門前の看板【田代小】
 下：玄関の受付【川尻小】



上：モザイク画【万世中】
 下：教育活動の紹介【川辺小】



校長室への誘い【田布施小】



卒業アルバム展【霜出小】



上：芸術鑑賞会【南別府中】

左：スパイダーマン【開聞中】